

# 第34回 埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳科学融合研究センター

## トリ胚の脳移植法を用いた 脳と行動の性分化

浜崎浩子 先生

北里大学 教授

日時： 2012年 3月21日（水曜日）

11:00 ~ 12:00

場所： 大学院理工学研究科国際セミナー室  
（理工学研究科棟7階）

本セミナー終了後に簡単な懇親会を予定しております（懇親会参加費300円：学生は無料）

問い合わせ先 小林 哲也（内線4351）

脳科学融合研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくは下記のHPをご覧ください。  
<http://www.saitama-u.ac.jp/iron/hp-kenkyo/shinkou/nousemi23.htm>

## 概 要

高等脊椎動物の生殖腺の性分化については、例えばヒトやマウスでは *Sry* 遺伝子が性決定遺伝子として働き、遺伝子転写活性カスケードを通じて精巣の分化を起こすことが知られている。脳の性分化については、精巣から分泌されるテストステロンが、脳でエストロゲンに変換されて出生前後の時期に作用することにより、脳の雄性化が起きることが示されている。ところが近年では、必ずしもホルモンに依存しない脳の性分化が知られてきており、脳の性分化のメカニズムについてはまだまだ解明すべき点が多い。我々は、この点に着目し、ニワトリ胚の雌雄間で脳原器を入れ替え、個体を孵化させ、性成熟後の表現型を解析するという手法を用いて脳の性分化について研究を行っている。行動、生殖機能、内分泌機能、組織解析などを行った結果、雌の正常な生殖機能について、ホルモン非依存的な雌の脳の働きが必要不可欠であることが明らかになっている。本セミナーでは、我々のこれまでの研究成果について紹介する。